上州文化

contents

特集世界に二つの縁切寺/高木 侃 ②

上野東歌探訪/北川和秀

10

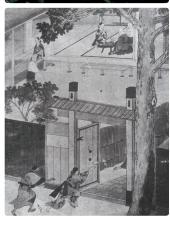
ART NOW ちりめんの人形達/永井與子

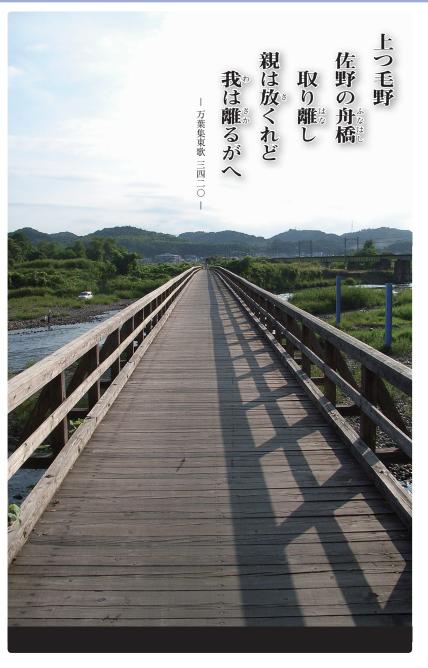
INFORMATION / 財群馬県教育文化事業団 ②

カフェの隅から 涼やかに/竹田朋子 ⑭











苦労なる勤めの寺中生活

縁切寺でなぜ足掛け三年(東慶寺二十四か月、満 縁切寺でなぜ足掛け三年(東慶寺二十四か月、満 を一七六八(明和五)年、東慶寺の「口上之覚」に、 とを一七六八(明和五)年、東慶寺の「口上之覚」に、 とを一七六八(明和五)年、東慶寺二十四か月、満

法にござ候
法にござ候
は、親元へ相返し、縁付きに障りこれなき寺間、夫へ対し候で、苦労なる勤め二十四か月間、夫へ対し候で、苦労なる勤め二十四か月

末期にはきわめて稀になります)。 末期にはきわめて稀になります。)。 本寺中は「山中において寺法が必要だったのです。在寺中し渡して、これを誓約させたのです。古例を順守する東慶寺では、あくまで入たのです。古例を順守する東慶寺では、あくまで入たのです。古例を順守する東慶寺では、あくまで入たのです。古例を順守する東慶寺では、あくまで入たのです。古例を順守する東慶寺では、あくまで入たのです。古例を順守する東慶寺では、本学型を要件でした。満徳寺が、離縁状受理を要件寺禁足という「苦労なる勤め」つまり二十四か月の在寺禁足という「苦労なる勤め」つまり二十四か月の在寺禁足という「苦労なる勤め」

髪は剃らなかった

は全文で八か条にわたりますが、要約して述べれば、みぎの「寺法勤方(掟書)」(前々号二頁に写真掲載)ましょう。かなりはっきりとした姿をみせています。まず、東慶寺での駆け込み女の在寺生活をみてみ

ても入寺中は暇を願わないことのほか、気でも宿下がりを願わないこと、どんな事情があっ(ことに入寺中五辛・酒・魚類は食べないこと)、病自殺を覚悟しての入寺であるから規律を守ること

一、髪切り候事

る」といわれています。 は有髪と類別により、頭も三種であったかと思われば有髪と類別により、頭も三種であったかと思われば有髪と類別により、頭も三種であったかと思われば有髪と類別により、頭も三種であったかと思われば有髪と類別により、頭も三種であったととあります。尼寺ですから髪を剃って尼になったととあります。尼寺ですから髪を剃って尼になったと

八〇七(文化四)年五月に、武州川越町医・渡



【写真1】松平家家来より蔭凉軒あての書状(旧小丸文書)

ら「髪挟切駈入」の文字が見えます。 ざ「折り紙形式」で書かれています。四行目の頭か をしたためた松平家川越藩役人から東慶寺蔭凉軒あ は八月二十一日夫渡辺拙斉が離婚を承諾し、寺法離 び十月二十八日の条に関連記事があります。写真し はなかったものと思われます。この一件は前橋藩松 を切った訳ですから、東慶寺で改めて髪を切ること 辺拙斉女房「たか」は「髪挟切駈入」ったとありま ての書状です。尼寺にあてたものですから、わざわ 縁状を持参することと、拙斉が病気で延引したこと でした。「たか」は縁切寺に駆け入る前にすでに髣 す。これは自分で髪を切ってまで夫に離縁を願うも 一般的には髪を切って離縁させるのが幕府法 (前橋市立図書館所蔵)の八月十八日およ

御経よみ候事

「寺法勤方」には、つづいて

、御経よみ候事

御針仕事出来もうさず候へば習い、仕立物い

習ってやったのです。 ありません。針仕事をして、 活の中心のように思えます。ここでもできなければ 字を理解しない庶民の駆け込み女もいたことですか 岡平仮名つきの経もよみ」(天保)とあります。文 存続を願って神奈川県庁に提出した「寺法勤方」に 御経もよみました。明治四年に東慶寺が縁切寺法 振り仮名つきのお経を習って、よんだにちがい 「御経読み習い候事」とあり、 仕立物を縫うことが生 川柳にも「松が

満徳寺の場合

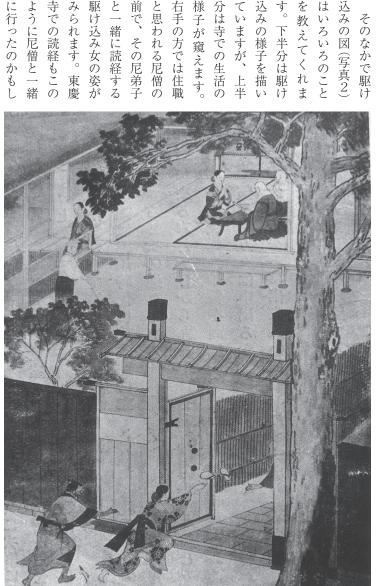
文書はなく、詳細はほとんどわかりません。入寺中 いるだけで、駆け込み女の様子を伝えるものはあり の用心也」など、日常生活にわたる規律が記されて 内にかたく入べからず」や「世間中の極大事は、 意のほか、「酒肉五辛の類すべて非法不浄の物、 律」があります。そこには宗教的作法や修行に励む の規則として、主に尼僧を対象とした年次不詳の「戒 ことのほか、男子との接近禁止、在家との往来の注 満徳寺における入寺中の女の生活振りについての 院

込みの図(写真2) ません。 そのなかで駆け

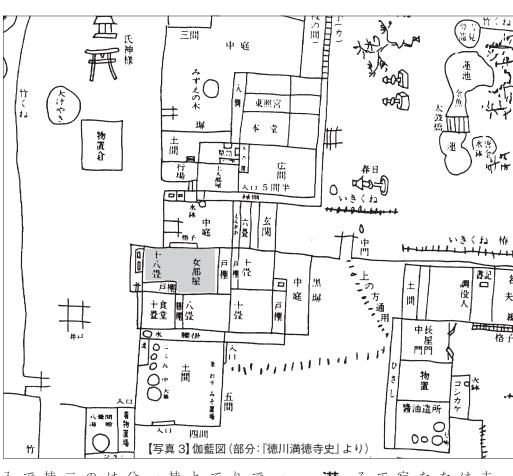
寺での読経もこの 駆け込み女の姿が と一緒に読経する 前で、その尼弟子 と思われる尼僧の 右手の方では住職 様子が窺えます。 ていますが、上半 込みの様子を描い す。下半分は駆け を教えてくれま はいろいろのこと みられます。東慶 分は寺での生活の

> るのでしょうか。 弟子のそばの廊下に腰掛けて物思いにふけっている れません。もう一人の駆け込み女は庭を掃除する尼 ようで、家に残してきた子供にでも思いを馳せてい

さんで反対側の隠居所の方で起居したと思われま 図には同じく庫裏西北の九畳が女部屋と記されたも 部屋」と記されています (次頁写真3)。また別の す)。いずれにしても庫裏のなかで日常を過ごした のもあります(板の間が付属して計十八畳になりま ことだけは間違いありません。尼僧たちは本堂をは ほかには境内図の庫裏西北に十八畳があり、「女



【写真2】駆け込みの図



法手続きに由来します。入寺後年季中であっても、 なかったと考えられます。 との記事がありますので、 町二丁目半兵衛妻「さよ」に関連して「久々入寺之女」 女がいたかといえば、一八四五 満徳寺には常時どのくらいの駆け込み その理由は、 数年に一人くらいしかい (弘化二) 年江戸本 満徳寺の寺

せたのです。

たので、

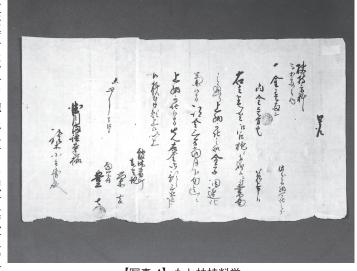
離婚・下山できる「年季中内済離縁」 徳寺では夫の離縁状さえ受理できれば、 を除き、

夫が離縁状を持って来さえすれば、 る必要があったのと著しい違いです。 ていてもかならず二十四か月在寺す 宛で寺法離縁状といいます)が届い たん入寺すれば、 たからです。 離婚となり、 方の東慶寺ではいっ 寺を出ることができ 夫からの離縁状

満徳寺の扶持料は分割納入

入で、 であること、その納入方法が分割納 持料の金額は、だいたい五、六両ほど 二両納入しています。満徳寺では、 の事例では、扶持料六両のところを、 は二十回払いです。年次不詳の「ゑい 分だけ納入しています。ということ と」の「覚」(写真4)によれば、 り分割払いが許されて一両二分納め ています。一八四七(弘化四)年「も では、金六両二分を「追々上納」つま 両上納するところをとりあえず壱 八四三(天保十四)年入寺の「むら 料は五両で、分割納入が認められ 満徳寺の扶持料(滞在費用)は しかも分納金額がゑいの場合

との示談交渉に臨み、ほとんどの場合内済を成立さ さしあたり一ヵ月分位の扶持料を納めて夫 少額であることが特徴です。というのも満 の制度があっ 年季中でも とき) 走によって離婚が成立すれば、実際上の扶持料は少 以後の費用を負担しなくてよかった。 ときの在寺期間は実例では二~十か月です)、それ 声掛り」 でも)、内済離縁が成立すれば下山でき、また「お れに対して、満徳寺では、召抱えられても(年季中 料としては二十四か月分が必ず納入されました。こ 方の資力などにより若干の差があったにせよ、扶持 月の在寺を要したので、分納額は駆け込み女の実家 方への出張)しますが、その後は絶対的に二十四か 定額の扶持料が決められていても、妻方(内済 東慶寺では、女召抱え、 内済離縁によっても下山できるので(この あるいは寺役人 直ちに出役 (お声掛りのとき) したがって、 (寺役人の 夫



【写真4】もと扶持料覚

努力したといえるのです。額になったことから、逆に少額納入後、内済成立に

満徳寺への礼金と諸経費

のなかの記事で知られていました。差し上げました。「文久二年(まつ内済離縁一件帳」東慶寺同様、満徳寺でも駆け入り女は寺へ礼金を

定之礼

金壱両弐分也 寺 役 金

金壱分ツ、 用人三人 定 之 事金三分也 ふちまい 三十日其余見計

壱貫文 下郎中へ 壱人前弐百文ツ、

金

別段世話ニ成次第、不同ニて見計之事外は別段世話相成候方、御用人又宿礼之義は

「まつ」は、この年七月二十二日に駆け入り、地 「まつ」は、この年七月二十二日に駆け入り、地 で、八月七日内済離縁になった事例です。「定之礼」 とありますので、内済離縁の一般的な礼金の定めを とありますので、内済離縁の一般的な礼金の定めを とありますので、内済離縁の一般的な礼金の定めを とありますので、内済離縁の一般的な礼金の定めを とありますので、内済離縁になった事例です。「定之礼」 とありますので、内済離縁になった事例です。「定之礼」 とありますので、内済離縁の一般的な礼金の定めを とありますので、内済離縁の一般的な礼金の定めを とありますので、内済離縁の一般的な礼金の定めを と思われるからです。

事例での「出入入用帳」一冊を見出しました。その今泉村(現・埼玉県羽生市)の聟幸吉女房「のい」最近、もう一例一八五九(安政六)年武州埼玉郡

趣意金

(慰謝料

このほか、当時の離婚では、今日の慰謝料が有責

れています。次の通りです。なかの五月五日の条に寺関係者への礼金等が記述さ

金百疋 御礼

御用人 村上源次郎様え

金五拾疋 扶持料 のいとの分青銅二〇疋 見習 岑 幸三郎様え

金百疋 御礼取扱宿え

金壱朱也 御茶代同所宿え

百疋は二五〇〇文、二分二朱ですから、御用一青銅弐拾疋 取扱宿え筆墨料

二十四万円の費用がかかったことになります。 氏の一両七万五千円説に従い、一両四分ですので四 払われています。合わせて約三両です。青木美智男 ほか、舟賃、食事代、草履代など諸費用が一両余支 三分二朱のほか、夫妻関係者の満徳寺寺役宿滞在の ますから、七日間の滞在で、寺や宿の関係者に一両 ぐに年季中内済離縁になり、五月五日に下山してい られますが、子が乳児で夫から離縁状が出されてす 二十八日に駆け込み、いったんは寺法離縁で召抱え 上げなかったものと考えられます。「のい」は四月 礼」では、寺への礼金が記載されていますが、「の 三郎が見習とのことで少額になっています。「定之 三名への金額は、ともに三分で同額ですが、峯好 で割り切れる数にして、一両八万円とすれば、 い」の場合、最終的な決着を見ていないので、 疋は二五〇〇文、二分二朱ですから、御用人 差

高木 侃(たかぎ・ただし)

【プロフィール】
1942年生。中央大学大学院法学研究
科修士課程修了後、関東短期大学教授
をへて、現職。国際日本文化研究セン
ター客員教授等歴任。満徳寺の研究で
法学博士。主要著書に『増補 三くだ
り半-江戸の離婚と女性たちー』(平凡
社ライブラリー)、『縁切寺満徳寺の研究。(成文堂)、『三くだり半と縁切寺ー
江戸の離婚を読みなおすー』(講談社現
代新書)などがある。

ました。さらに扶持料がかかり、かりに上臈格でました。さらに扶持料がかかり、かりに上臈格では一番からすが、これは寺への上げ金の差によりをが支払う原則です。 一番のでは三両二分、「聊」でも「少々」にも差し出したのです。 一番をし出したのです。 なお、東慶寺の場合、駆け入り女を三格式、すななお、東慶寺の場合、駆け入り女を三格式、すななお、東慶寺の場合、駆け入り女を三格式、すななお、東慶寺の場合、駆け入り女を三格式、すななお、東慶寺の場合、駆け入り女を三格式、すななお、東といっでも差し出したのです。

と、興味は尽きませんが、別の機会にゆずります。 をのほか離縁と帰縁で寺への礼金が大幅に異なるなる勘定です。東慶寺の寺格の高さと土地柄(物価)によったものか、満徳寺とは比べ物になりません。 そのほか離縁と帰縁で寺への礼金が大幅に異なるなど、興味は尽きませんが、別の機会にゆずります。 なお、東慶寺の場合、駆け入り女を三格式、すなる勘定です。東慶寺の場合、駆け入り女を三格式、すなる勘定です。東慶寺の場合、駆け入り女を三格式、すなる勘定です。東慶寺の場合、駆け入り女を三格式、すなる勘定です。東慶寺の場合、駆け入り女を三格式、すなると、興味は尽きませんが、別の機会にゆずります。

昔も今もそう変わらないものかもしれない。
古のうちの二つが一三○○年も前の万葉集にすでによまれているというのも、下のうちの二つが一三○○年も前の万葉集にすでによまれているというのも、一首にはからっ風がよまれている。群馬の名物である雷、からっ風、かかあ天一首には伊香保をよんだ歌の中から次の二首を取り上げる。一首には雷、もう

◎伊香保嶺に雷な鳴りそね吾が上には故はなけども子らによりてそ

(三四二二)伊香保風吹く日吹かぬ日ありと言へど吾が恋のみし時なかりけり

この二首の解釈に入る前に、まず伊香保について少し述べておく。

、伊香保とは

浮かべるが、万葉集の時代、「伊香保」とは榛名山のことであった。治二十二年に三村が合併して成立。平成十八年以降は渋川市伊香保町)を思い現在、「伊香保」というと、榛名山東斜面にある伊香保温泉や伊香保町(明

波の穂などの「穂」である。「炎」は現代仮名遣いでは「ほのお」と書くので、秀)」は、突き出ているもの、他からぬきんでているもの。例えば、稲穂、槍の穂「いかほ」という語の構成は「いか (厳) +ほ (穂・秀)]と考えられる。「ほ (穂・

「いかほ」の「ほ」も同じと考えてよい。穂とよく似ている。山の名に「高千穂」「穂高」など「ほ」の付くものがある。書く。すなわち「火の穂」の意である。ろうそくの炎を見れば、その形は槍の語源が分かりにくくなってしまっているが、歴史的仮名遣いでは「ほのほ」と

と呼ぶに相応しいものであったろう。万葉集では雷のことを「鳴る神」ともいっ 書紀に登場する神名にいくつか見える。例えば、野の神ノヅチ、火の神カグツ 吹いてくる風」の意。「ち」は霊力のあるものを表す接尾辞で、古事記・日本 閉ぢよ~」にうたわれている「天つ風」の なぐ助詞で現代語の「の」にあたる。小倉百人一首の「天つ風雲の通ひ路吹き いう感じではないというのである。さて、皆さんはどうお考えになるだろうか。 生にこの話をしたところ、あまり納得していなかった。榛名山は「険しい」と 考え方である。以前、 山は現在の榛名山を指している」とある。これは、「いか」を険しい山とみる 項には「周囲の険しい山容厳つ峰【いかつほ】からきたものといわれ、伊香保 木を引き裂き、人命を奪うこともある雷は、 解釈もできる。一つは、「いかづち」の「いか」である。「いかづち」の語源は、 か」もこれである。『群馬県地名大辞典』(角川書店)の「いかほ「伊香保」の 表す語で、「いかめし(厳めし)」「いかる(怒る)」「いかづち(雷)」などの「い 「いか(厳)+つ(連体助詞)+ち(霊)」である。「つ」は名詞と名詞とをつ る状態」(『岩波古語辞典(補訂版』の「いかし【厳し・重し・茂し】の項)を 「いか(厳)」は「内部の力が充実していてその力が外形に角ばって現れてい 「いか」の本質的な意味を前述の『岩波古語辞典』の通りに考えても、 海流の神シホツチなど。 吉岡町で生まれ育ち、毎日榛名山を見て暮らしている学 ヤマタノヲロチのチも同様。 「つ」がこれで、「天の風」「天から 古代人にとってはまさに 岩石を打ち砕き、立 別の

特性をとらえて「いかほ」と命名したという可能性は十分に考えられる。の巣といえるほど雷の発生が多い。それも強烈なのが。榛名山のもつそういうており、万葉人が雷鳴を神の仕業と考えていたことがうかがえる。榛名山は雷

な説得力をもつ。

な説得力をもつ。

な説得力をもつ。

な説得力をもつ。

な説得力をもつ。

な説得力をもつ。

ないるが、五世紀から六世紀にかけて三回噴火したそうである。古代人が噴火て、はじめて気付き、なるほどと思った説である。榛名山は今はおとなしくしたとも考えられる。これは、四年ほど前に学習院大学教授の安部清哉氏から伺っまた別の解釈として、榛名山が火山であることが「いかほ」の命名につながっまた別の解釈として、榛名山が火山であることが「いかほ」の命名につながっ

畏敬の対象として見ていたことであろう。
して見ていたことであろう。
した当時の人々は、榛名山を畏怖、のどういった性格をとらえてそのように表現したのか。険しい山容、雷の巣、のどういった性格をとらえてそのように表現したのか。険しい山容、雷の巣、のどういった性格をとらえてそのように表現したのか。険しい山容、雷の巣、のどういった性格をとらえてそのように表現したのか。険しい山容、雷の巣、のどういった性格をとらえてそのように表現したのか。

一、「伊香保嶺に」の歌の解釈(語釈)

伊香保嶺に雷な鳴りそね吾が上には故はなけども子らによりてそ (三四二一)

伊香保祢尔 可未奈那里曽祢 和我倍尔波 由恵波奈家杼母 児良尔与里弖曽いかほねに かみななりそね わがへには ゆゑはなけども こらによりてそ

あの娘が怖がるものでね。 伊香保の峰に雷よ鳴ってくれるな。私の身にはそう願う理由はないけれども、

というよりは、「鳴る+神」という二語として認識されていたもののようにもことは「いかづち」または「なるかみ」といった。「なるかみ」もそれで一語「かみ」は雷。当時はまだ「かみなり(神鳴り)」という語は存在せず、雷の

世末期以降である。 生まれるのは平安時代に入ってからであり、広く一般化するのは中

られる。 「な」は禁止をあらわす副詞。「な ・連用形 + そね」という形で用い ない。

し」の上代における已然形。「わがへ」は「わが上」のつづまっ「わが身の上」。「故」は「理た形。「わが身の上」。「故」は「理

何せむに勝れる宝子に及かめや山上憶良の有名な「銀も金も玉も」とうだれくだね。 「子」は本来は子どものことで、

女性に対して親愛の情を込めて用いた例が圧倒的に多い。若い女性を「こ」とも」(巻五・八〇三)のような原義通りの歌もあるが、万葉集全体では、男性が作せせい服才を写写に及えぬる

いうことで。が思い浮かぶ。どちらもあまり新しい例とはいえないところは、まあご愛敬とが思い浮かぶ。どちらもあまり新しい例とはいえないところは、まあご愛敬との歌詞の冒頭やら、「あの娘とスキャンダル」という歌謡曲の題名や歌詞やら呼ぶ言い方は現代でも行われている。よく知られた例として、「銀座カンカン娘」女性に対して親愛の情を込めて用いた例が圧倒的に多い。若い女性を一こ」と女性に対して親愛の情を込めて用いた例が圧倒的に多い。若い女性を一こ」と

いた例である。
「子ら」は、「子」に親愛の情をあらわす接尾辞「ら」が付いたもので、単数・「子ら」は、「子」に親愛の情をあらわす接尾辞「ら」が付いたもので、単数・「子ら」は、「子」に親愛の情をあらわす接尾辞「ら」が付いたもので、単数・「子ら」は、「子」に親愛の情をあらわす接尾辞「ら」が付いたもので、単数・「子ら」は、「子」に親愛の情をあらわす接尾辞「ら」が付いたもので、単数・「子ら」は、「子」に親愛の情をあらわす接尾辞「ら」が付いたもので、単数・「子」は、「子」に親愛の情をあらわす接尾辞「ら」が付いたもので、単数・「子」は、「子」に親愛の情をあらわす接尾辞「ら」が付いたもので、単数・「子」は、「子」に親愛の情をあらわず接尾辞「ら」が付いたもので、単数・「子」は、「子」に親愛の情をあらわず接尾辞「ら」が付いたもので、単数・「子」に親愛の情をあらわず接尾辞「ら」が付いたもので、単数・「子」に発

国東歌三例、信濃国防人歌一例、昔年防人歌一例)に対し、「子ろ」は二〇例(常東歌・防人歌では「子ら」が一〇例(相模国東歌一例、上野国東歌四例、未勘「子ら」は東国方言では「子ろ」という語形をとることが多い。数字を示せば、



水沢観音境内にある「伊香保嶺に」の歌碑

いられていたことになる。名が判明している歌のみに限れば、上野国では中央の語形と同じ「子ら」が用人歌一例)である。未勘国(国名未詳)東歌が多いので何とも言えないが、国陸国東歌一例、相模国東歌三例、下野国東歌一例、未勘国東歌一四例、昔年防

から、作者は男性である。その歌の作者は男性ということになる。この歌には、「子ら」という語がある歌(特に相聞歌において)の中に「子」「子ら」「子ろ」という語があれば、

三、「伊香保嶺に」の歌の解釈(状況など)

るのか。分けて考えてみることにする。
たはそれ以外のどこか別の場所にいるのか、それとも②伊香保に女と一緒にいてくれるな」と言っている。とすれば、女は伊香保にいる。男は①伊香保、まるのであろうか。この歌の作者は「彼女が怖がるから、伊香保の峰に雷よ鳴っさて、この歌のカップルは離れた所にいるのであろうか、それとも一緒にい

①女と男は別の場所にいる場合

な」と神に祈っている。にいる女の身を案じて、「女のいる伊香保の峰ではあまり激しく鳴ってくれるにいる女の身を案じて、「女のいる伊香保の峰ではあまり激しく鳴ってくれるはどうであろうか。被害はないか、怖がってはいない。しかし、女のいるあたり男のいるあたりの雷鳴は幸いにそう激しくはない。しかし、女のいるあたり

②女と男は一緒にいる場合

あまり激しく鳴ってくれるな」と神に祈っている。したことはないが、怯えている女の様子を目の当たりにして、「もうこれ以上一伊香保に二人一緒にいるときに雷が鳴り出した。男にとってはこの雷鳴は大

場合、男が「吾が上には故はなけども」とうたうことの意味は何か。唐突ながどちらの可能性もありそうである。だが、①のように二人が別の場所にいる

いことだからである。 いことだからである。 いことだからである。。 のいことだからである。。 のいことだからである。 のいことだからである。 のいことだからである。 のいことだからである。 のいことだからである。 のいことだからである。 のいことだからである。 のいことにいる。 のいことにいる。 のいことにいる。 のいことにいる。 のいことにいる。 のいことにいる。 のいことにいる。 のいる。 のい。 のいる。 のいる。 のい。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のい。 のいる。 のい。 のいる。

②のように二人が一緒にいる場合は、「吾が上には故はなけども」が味わいる遠慮であろうか。「お蔭をもちまして私の方は無事です。彼女の方もどうぞろ遠慮であろうか。「お蔭をもちまして私の方は無事です。彼女の方もどうぞお手柔らかに」と言おうとしているのならば、分からないでもない。神に対する遠慮であろうか。「お蔭をもちまして私の方は無事です。彼女の方もどうぞお手柔らかに」と言おうとしているのならば、一つも同じではあるまいか。離れたところにいる女の身を案じているのならば、

をダシにして雷鳴が早く収まることを祈っているのかもしれない。

ならに穿って考えるならば、女は雷を全く怖がっていないのに、この男は、女にしているわけである。このようにわざわざ断るところが逆にあやしい。男の足しているわけである。このようにわざわざ断るところが逆にあやしい。男のこのようにご人が一緒にいる場合は、「吾が上には故はなけとも」が味わい。ののように二人が一緒にいる場合は、「吾が上には故はなけとも」が味わい

この歌は、二人が伊香保に一緒にいるときのものと考えたい。

なくても、この歌は十分に意味が通る。理解である。興味深い説ではあるが、やや深読みとは言えまいか。寓意を考えいる。私は気にしないけれども、彼女が迷惑するので、やめてほしい」というのかしましい噂ととるのである。「我々二人の仲をかしましく言い立てる人がなお、この歌には寓意が籠められているとする説がある。伊香保嶺の雷を人々なお、この歌には寓意が籠められているとする説がある。伊香保嶺の雷を人々

柿本人麻呂歌集からの引用歌である。蛇足ながら、万葉集に雷をよんだ恋人同士の問答の歌があるので紹介する。

- 鳴る神の少し響みてさし曇り雨も降らぬか君を留めむ(巻一一・二五一三)
- 鳴る神の少し響みて降らずとも我は留まらむ妹し留めば

一 : 三 五 四四

かなか面白い。 ている。雷が来ることを望んでいる歌で、 てこなくても私はとどまりましょう。あなたが引き留めるのならば」とうたっ き留めするのに」と女がうたい、それに答えて男が「雷が少し鳴って雨が降っ 「雷が少し鳴って曇ってきて雨も降らないかなぁ。そうすればあなたをお引 今回問題にしている歌と対照的でな

四 伊 香保風」 の歌の解釈

伊香保風吹く日吹かぬ日ありと言へど吾が恋のみし時なかりけり(三四二二)

等伎奈可里家利伊可保可是の布久日 1布加奴1 Ηv 安里登伊倍杼 安我古非能未思

伊香保から吹きおろす風だって、吹く日も吹かない日もあるというけれど、 があなたを思う恋心ばかりは、止むときがないことだ。 私

てくる風。榛名おろし。「し」は強意の助詞 香保風」は、 伊香保の地で吹く風、 あるいは伊香保の山から吹き下ろし

時には吹かない日もある。でも、私があなたを思う気持ちは常に変わらない。 北西の季節風が吹き下ろす。この季節、ほとんど毎日のように強い風が吹くが、 秋の終わりから春先に掛けて、榛名山からは、「からっ風」と呼ばれる強い

作者の性別については手掛かりがなく分からない。どちらもあり得るであろ

う。 生市あたりであれば赤城おろしがうたわれそうである。 歌が作られた場所は今の高崎市や安中市あたりであろうか。伊勢崎市や桐

万葉集には、この歌と同様の趣旨の歌がいくつかある。

1 大海に立つらむ波は間あらめ君に恋ふらく止む時もなし

卷一一:二七四一)

2 韓亭能許の浦波立たぬ日はあれども家に恋ひぬ日はなし。

(巻一五・三六七〇)

3

(巻一七・三八九一)

4 印南野のあから柏は時はあれど君を吾が思ふ時は実なしいなの

(巻二〇·四三〇一)

ことばの上ではほとんど重なっていない われる。 歌は都から東国に下ってきた官人が作っ 使われていない。ひょっとしたら、この 東国にまで広く知られていたのであろう である。当時、こういったパターンは そのパターンに従って作ったもののよう 心をうたう時の一つのパターンができて が、趣旨は同じである。常に変わらぬ恋 た、という可能性も考慮すべきものと思 は明らかに東国方言とおぼしき語が全く か。そういう視点から見ると、この歌に たのであろう。「伊香保風」の歌は これら四首とも、今回取り上げた歌と



旧ハワイ公使別邸隣にある「伊香保風」の歌碑

9



具合の良し悪しを競っていました。外で遊ぶための遊具などを小刀で器用に作り、出来子は竹とんぼや紙ひこう機、正月は凧づくりなど、頃はそれがごく自然な時代でした。たとえば、男の「欲しい物は自分で作る」なぜなら、私が子供の

け、嬉嬉としていたように記憶しています。い時代でしたが子供達の顔は、皆たくましく日に焼しむ物に夢中でした。テレビもおいしいおやつも無女の子達はアップリケや刺繍など、身につけて楽

聞いています。そんな我が家のどん底時代に私は誕家業はままにならず、大きく方向転換を迫られたと、術はもとより、職種に対しても厳しく制限をされ、終戦と共に日本はアメリカの統治下の元で文化や芸事も一因して、家業は栄えていたようです。しかし私の生家は、高崎駅の程近くで、刀剣商を営んで私の生家は、高崎駅の程近くで、刀剣商を営んで

でも鮮明に覚えています。私は、母が裁縫を始めるでも鮮明に覚えています。私は、母が裁縫を始めると、母の側にずっと居られるのがうれしくて、傍らと、母の側にずっと居られるのがうれしくて、傍らと、母の側にずっと にぎ合わせたり 不恰好なお手 してい 物は自分で作る」を実践していた訳をは、いまなひとときでした。

家の道を歩みだした原点なのは確かです。をしているのだろうと思います。後年、私が人形作を始めたのも、こんな子供の頃の日常が大いに影響小さい頃から布が大好きで、ごく自然に人形作り

で上品な布です。この布を好みの人肌色に染め上げ分長い事、使ってきました。縮緬は実に、たおやかの作家の意図にも依るのですが、私はこの縮緬を随アクリル、木綿等の布類等々。仕上げの方法は個々アクリル、木綿等の布類等々。仕上げの方法は個々オの作る人形は皮膚となる面に縮緬の布を貼りま

て、 薬玉模様が描かれた、 長を最大限に発揮してくれます。 さな小さな子供時代の思い出です。 町内を練り歩いていた覚えがあります。遥か遠い小 の間じゅう、着物を着せてもらい近所の女の子達と しくて良いものだと、やたらに褒めるので、三箇日 せんでした。大人は子供達の着物姿がとても正月ら に入ったのか、脱いでしまいたいとは一度も思いま 何度も念を押され、一日中緊張しながらも、 に残っていて「縮緬だから汚さないように」と母に 月の晴着にと着せてもらった紺地の色取り取りの、 特別な晴れがましい響きがあります。子供の頃、 る瞬間です。特に「ちりめん」って私にとって何か 布のしぼが、 造形した顔や手足に接着剤で貼っていきます。 滑らかな餅肌のように馴染み、 友禅の振袖は、今も私の記憶 素材が人形に変わ 正

寺よ多り、弘ますでこ一見の母こなり、人形を学きな役割を果たすとは、夢にも思いませんでした。りません。しかし、その着物が後年、私の人生に大着物が、どうなったのか、母の亡き後は知る由もあ着物の事はそれっきり忘れてしまい、その後その

騒とは、まるで違った別の世界でした。先ず、驚いいる店を見つけた」と、友人が教えてくれました。 でいる店を見つけた」と、友人が教えてくれました。 でいる店を見つけた」と、友人が教えてくれました。 当時、私は人形に何か新しい素材を取り入れたい と、模索していた時期だったので、何かに突き動かされたような気持ちになり、早速出掛けて行きました。 されたような気持ちになり、早速出掛けて行きました。 造業根では、美しい女主人は和の装飾品や 時代衣装のコレクターとして良く名の知られた方で した。逸る気持ちを抑え店に入ると、そこは外の喧 した。逸る気持ちを抑え店に入ると、そこは外の喧 した。逸る気持ちを抑え店に入ると、そこは外の喧

店の許可を得て布捜しに取り掛かったのです。 踏み入れたような興奮を覚えたものでした。 で上品な着物、 か作業していたようでした。 袖が展示されてい いました。 になってい たのはその、 様や色使いの着物などを目前にして、 れた、 僅かに残ったスペースのそこかしこに丁寧に作 縮緬の細工物がセンス良く上品に飾られて 奥の三畳程の小上がりには、 て、 布 大正や昭和初期のモダンで新鮮な模 整理された布を天井近くまで積み上 の量の多さでした。 て、 その前で前述の女主人達が何 江戸時代や明治の優雅 壁 宝の山に足を 面 時代物の 0) 治がどは 早速、 振

わ

ず声が出てしまいました。 うかと思いながら棚の方に目を向けると、 ているうちに、 つですが、 時に着ていた、 い花柄の、 わくわくした新鮮な驚きをもって布を見始めて 瞬間に、 この着物が伝えて来る懐かしい感覚は、 良く似た着物が何枚も置いてある事に気付いた 其 八の時、 柄や色そして手ざわりなど、 蘇って来たのです。 小さな着物でした。 何か途轍もない郷愁感が湧き上がっ 枚の着物に目が止まりました。 あの正月の着物に良く似ていたの 長い時を越えて、 勿論、 「私の着物だ」 手にとって暫く見 可 子供の 0) 正しく子供 物ではない 驚いた事 頃の記憶 何だろ 思わ かわ

> となりました。 事なライフワー

く似た着物を買 してくれたのだ。 物で仕立てた着物を、 祖母が、 なり、 まだ幼かっ Ś その中から記憶に んの着物でした。 い求め、 親子三代それぞれの思い 今度は母が私達の為に縫 た私の母の為に、 しばらくの にある柄 私は懐な 間 当時の流行 かしさで胸 部 ・が込め 屋に 一番良 い直 飾

> 機だっ きっ と言うものがあるとすれば、 ŋ って行くのでした。 かけに、 飽 たのに違いありません。 くなく眺めていたものです。 その後の人形との関わり この事が私の この もし人生に転機 方は大きく変 連の出来事を 人生の転

といいます。 意味があり、 る由縁です。 !のある高級織物や皮物、 は 「正倉院裂」 それらが優に百年以上たった物を古裂 その辺りが布のアンティークと言わ ゃ 「名物裂」 また其の切れ のように、 端と 歴史的

供

形にも言えるのだ。そんな訳で古裂捜しは、 着物を着せると俄然良くなる、 や小物に至るまで使い、 たのです。 私はこの縮緬の古裂を前途の人形の肌 未熟な私の人形でも、 新たな人形制作の模索を始 馬子にも衣装は、 古裂で仕立てた から、 私の大 衣装

いる様に見える か 我 0) 11 た人形達です。 を終えて戻って来 里会館での作品 高 しています。 陰崎市の 体の 不思議です。 が家に戻り、 は人形も 知らホッとして 展 示会で疲れた 目 人形が乱立 日本絹 の前に数 先頃 同 長 何

> 立たせる意味をもっているので、 に思うのです。 たならば、 作業です。 私にとって人形作り たとえ一 これ以上の幸せはありません。 時でも安らぎと幸せを与える事が出 その人形達が見る人の 小物一つにしても、 は、 いつも人形との戦い け 心のどこかに 人形全体を引き して手を抜け 0

きます。 り続けて来ています。 余り好きでない。 の時から人形を作り始めて、 面倒臭がりのわりに、 自分だけの構図を丹念に縫い紡ぐ。 や先祖が残した古裂の歴史や追憶に浸り 人形は作り手の人生を濃縮した形です。 旨くならないのが逆に魅力と、 多分これからも作り続けて すぐに終わってしまう 私はずっと人形を作 より そして、 層楽 な 事 子

いです。 手から生まれる人形との出会いが



人形作家 竹 本 京

(高崎市出身)

現代人形工芸作家、福田啓助氏に師事 1966

高崎にて人形工房開設 1975

1985 人形美術展初入選

県美術展入選·奨励賞·群馬 TV 賞·県議長賞· 1991 市美術展委員大賞·県作家協会展県議長賞 ~ 99

2001 群馬 TV「技に迫る」出演

群馬県知事賞 2003

「ちりめん創作人形展」開催 (日本絹の里) 2004 ~ 08

2008 日本絹の里功労賞

第4回「ちりめん創作人形展」開催(日本絹の里) 2010

全国各地で企画展、合同展多数開催。出版物、各賞受賞多数。現在、社団法人群馬県作家協会理事・高崎市 美術委員・人形工房主宰

I·N·F·O·R·M·A·T·I·O·N

平成 22 年度

第34回県民芸術祭

2010 GUNMA PREF. ART FEST.

美術 ■ 音楽 ■ 舞踊 ■ 芸能 ■ 演劇 ■ 映画 ■ 文芸



県民芸術祭は、昭和52年から始まり、今年で 34回目を迎えます。多くの県民の皆様が文化芸 術活動に積極的に参加できるよう支援するととも に、優れた芸術鑑賞の機会を提供することにより、 個性豊かな新しい県民文化の育成・創造を目指す 文化芸術の祭典です。

第 61 回群馬県美術展覧会

- 11/14 (日) ~ 23 (火·祝) 9:30~17:00 (入館は16:30まで)
- ●群馬県立近代美術館
- ●無料
- ●主催/群馬県美術会



日本画・洋画・彫刻・工芸の一般作品及び美術 会会員の作品を展示。

第61回群馬県書道展覧会

- 11/27 (土) ~ 12/13 (月) 9:30~17:00 (入館は 16:30 まで) ※ 12/2・8 は掛け替えのため観覧できません。
- ●群馬県立近代美術館
- ●無料
- ●主催/群馬県書道協会



漢字・かな・墨象・少字数及び近代詩文・篆刻の 公募及び委員・委嘱作家の作品を展示。

第 58 回群馬県写真展覧会

- 10/10 (目) ~ 17 (目)
- 10:00 ~ 17:00 (最終日は 15:30まで)
- ●群馬県生涯学習センター
- ●主催/群馬県写真文化協会



自由・風景・ネイチャー・ビギナー・ヤング部門の 一般公募の入選作品及び委嘱作家の作品を展示。

第 56 回群馬県大茶会

- 10/17 (日) 10:00 ~ 16:00
- ●少林山達磨寺(高崎市)
- ●入席料 1,500円(3席)



●主催/群馬県茶道会 県内各流派と高校生の茶席を設け、お手前披露



第61回群馬県華道展覧会

- 10/27 (水) ~ 11/1 (月) 平日 10:00 ~ 19:00 土・目 10:00 ~ 19:30
- ●高崎高島屋 6 階催場
- ●無料
- ●主催/群馬県華道協会

県内 35 流派の生け花作品 を一堂に展示。





群馬県教育文化事業団











12 13			
りょうもう美術館名品展 - こんな素敵なコレクションがあった。-	9/18 (土) ~ 11/28 (日)	群馬県立館林美術館	一般 800円 大高生 400円
「群馬の肖像Ⅲ-政治王国ぐんまと上州人宰相-」	10/2 (土) ~ 11/28 (日)	群馬県立歴史博物館	一般 500 円 大高生 300 円
第 30 回群馬県邦楽協会定期演奏会	10/3(日) 開演 11:00	ベイシア文化ホール	1000円 [全席自由]
小中学校伝統芸能教室(下牧人形)	10/5 (火)	みなかみ町立幸知小学校	無料
第 25 回コンサートぐんま G.M.A	10/8(金) 開演 19:00	高崎市文化会館	1000円 [全席自由]
県民音楽のひろば(伊勢崎公演)	10/9(土) 開演 18:30	伊勢崎市境総合文化センター	一般 2000円 高校生以下 1000円
高校芸術祭(演劇/中毛地区大会)	11/9 (土)・10 (日)	群馬会館	無料
第 54 回群馬県合唱祭	10/10(日) 開演 10:00	伊勢崎市文化会館	500円 [全席自由]
創立 30 周年記念 第 19 回琴城流大正琴フェスタインぐんま 2010	10/10(日) 開演 10:00(予定)	高崎市文化会館	無料
小中学校伝統芸能教室(尻高人形)	10/13 (水)	高山村立高山小学校	無料
城若座操人形芝居定期公演(ふるさと秋まつり参加)	10/15 (金) 10:30 ~ 15:30 (入場随時)	八城西住民センター (安中市松井田町)	無料
第 34 回ぐんまバレエフェスティバル	10/17(日) 開演 13:30	利根沼田文化会館	無料
第 47 回群馬県吟剣詩舞道大会	10/17(日) 開演 9:30	伊勢崎市文化会館	無料
第 44 回邦楽と舞踊の会	10/17(日) 開演 11:30	高崎市文化会館	無料
群馬県文化奨励賞表彰式	10/21 (木)	群馬県庁昭和庁舎 正庁の間	
第 13 回日本舞踊協会群馬県支部公演	10/24(日) 開演 11:00	ベイシア文化ホール	3000円 [全席自由]
第 12 回妙義山写真コンテスト	10/27 (水) ~ 11/7 (日)	富岡市妙義中央公民館	無料
小中学校伝統芸能教室(八城人形)	10 月下旬	安中市立碓東小学校	無料
高校芸術祭(関東高校囲碁選手権群馬県大会)	10/30 (土) · 11/7 (日)	群馬県生涯学習センター	無料
第 34 回ぐんま県人物画展	10/31 (日) ~ 11/7 (日)	群馬県生涯学習センター	無料
高校芸術祭(美術工芸・書道・写真/作品展示)	11/4 (木) ~ 10 (水)	高崎シティギャラリー	無料
第 32 回渋川・北群馬小中学校児童生徒音楽会	11/4 (木) 開演 13:00 11/5 (金) 開演 9:30	渋川市民会館	無料
第 57 回沼田市文化祭	11/5 (金) ~ 7 (日)	沼田市中央公民館・ グリーンベル 21 他	無料
高校芸術祭(演劇/群馬県大会)	11/13 (土) · 14 (日)	安中市文化センター	無料
ふるさと群馬の伝統食「うどん」	11/14(日) 開演 10:00(予定)	藪塚中央公民館 (予定)	未定
第 48 回群馬県文学賞授賞式	11/17 (水)	群馬県庁昭和庁舎 正庁の間	
チャリティコンサート	11/7(日) 開演 13:30	藤岡市みかぼみらい館	500円 [全席自由]
高校芸術祭(個人演奏会)	11/18 (木)	ベイシア文化ホール	無料
第35回全群馬民謡民舞コンクール大会	11/21 (日) 開演 9:30 (予定)	前橋テルサ	無料
第 67 回温故和楽会定期演奏会	11/21(日) 開演 12:30	ベイシア文化ホール	無料
第 29 回ぐんま新人演奏会	11/23(火・祝) 開演 13:30	ベイシア文化ホール	1000円 [全席自由]
第 11 回尻高人形芝居定期公演	11/23(火・祝) 開演 13:30	高山村西地区屋内ゲートボール場併設舞台	無料
オベラレクチャー 「知っておきたいオペラ 20 選」 Vol.1	11/27(土) 開演 15:00	ベイシア文化ホール	1000円 [全席自由]
郷土芸能「歌舞伎発表会」	11/28 (日) 開演 10:30	渋川市民会館	無料
第 11 回群馬県障害者作品展	12/3 (金) ~ 7 (火)	群馬県庁県民ホール	無料
第 34 回民族舞踏発表会	12/5(日) 開演 11:00	渋川市民会館	無料
グリーンコンサート 2010 opus.2 "One Night Winter"	12/10(金) 開演 18:00	群馬県生涯学習センター	無料
第 34 回群馬県アンサンブルコンテスト	12/11 (土) · 12 (日) 開演 10:00 (予定)	伊勢崎市文化会館	500円 [全席自由]
ふるさと群馬の伝統食「おきりこみ」	12/12(日) 開演 10:00(予定)	前橋元気プラザ 21 (予定)	未定
TSUKEMEN プロジェクト ティーンエイジャーコンサート/エピソード 1	12/18(土) 開演 13:00	ベイシア文化ホール	大人 1000 円 学生 700 円 [全席自由]
第 11 回少年少女合唱団群馬県フェスティバル	12/5(日) 開演 13:00	藤岡市みかぼみらい館	無料

カフェの隅から



涼やかに



・・・・・・ 花おくらの花が咲いた。直径 10 センチほど、淡いクリーム色の清楚な花だ。 「ケーキに添えると、映えるぞ!」と、叔父夫婦が昨年、苗を持ってきてくれたのだ。 もちろん食用である。

カフェのお客様にケーキと共に供すると、「あらァ、ほんとにオクラの味がするわ!」 と好評であった。さっと湯がいて、三杯酢でも美味である。

昨夏、初めて花おくらが開いた朝、(どうケーキに添えようかしらー)と思案した。直径22センチのケーキ皿の上に、10センチの大きな花。それだけで存在感がある。当初は、花びら2、3枚をお皿にのせ、そこにケーキをデザインした。だが花の色彩が淡すぎ、ち



だか映えない。それ のままあしらい、そ ぜん豪華になった。 か、ケーキが主役 まひとつだ。でもま 花とケーキの競演! いではないかと、 も大げさだが)。 以前私はフラワーア

た。オアシスに花を

デザインする作業は楽しかったが、手先が不器用なので、ワイヤーを使ったブーケや、ラウンド型にまとめるなどの技巧を凝らした形が、大の苦手だった。無造作(?)に花瓶に挿す投げ入れの形式が性に合っていた。そこで、自然の花を自然にデザインすることで著名なT先生の、一日体験教室に出向いた。先生は、私のぎこちないデザインを「うん、いいわね」と短くおっしゃり、「あら、この子(花)は、こちらを向きたがっているわ。この子はあっちよ!」と言いながら、さらり、ひらりと花の向きを変えられた。それだけで花たちが喜々と楽しそうだ。私は先生の手元に見とれた。以後、私の花あしらいは投げ入れ、と決めている。

いま、そんな人間の思惑とは無縁に、花おくらの花はその生を満喫している。ケーキに使われようが、気がつかれぬまま空に返ろうが頓着なしに、晩夏の風の中で、楚々と涼やかである。

竹田 朋子〈略歴〉

長野原町出身/群馬ペンクラブ会員 散文誌「せせらぎ」同人/短歌誌「遠天」同人 第 55 回「日本随筆家協会賞」受賞/第 46 回群馬県文学賞受賞 著書『風の吹く道』



レストラン 伊万利ダイン

群馬県•伊香保温泉



政府登録国際観光旅館 **◇ ロブヤルチェーンボチル** 加盟店 群馬県渋川市伊香保町396-20

予約直通 Tel.0279-72-4489

東京営業所 東京都台東区東上野6-10-7金子ハイツ503 〒110-0015 Tel. 03-3843-0083

埼玉営業所 埼玉県さいたま市中央区下落合4-23-10-101 〒338-0002 Tel. 048-856-1660

L

列 四四

日季の懐

おらwarabiza 大座



ミュージカル 『カンアミ伝』

観阿弥

能狂言の大成者 観阿弥・世阿弥親子の 波乱万丈人生の ミュージカル化



日時 平成22年12月19日(日) 午後2:00

会場 ベイシア文化ホール 大ホール (群馬県民会館)

(10/1 前売り開始)

料金 指定席 4,500円 自由席 3,000円

ご予約・お問合せ

芸術文化 NPO法人 スピリットネットワークぐんま TEL 027-251-4455 前橋市問屋町 1-1-1

資産運用のご相談は、群馬銀行へ!





編集後記

◇軽井沢に行き、ライブラリーカフェ 「一房の葡萄」に寄る。ここは有島武 郎の別荘「淨月庵」の一階がカフェと して開放されているもので、コーヒー が実に旨い。久しぶりで自分の来し 方を考える貴重なひとときだった。 さあ、季節は秋。

「風立ちぬ、いざ生きめやも」(NK)

- ◇本誌希望の方は、送料(140円×希望 回数分の切手)を添えてお申し込み 下さい。また、ご要望ご意見等もお 寄せください。
 - © 財団法人 群馬県教育文化事業団 (本誌からの無断転載、コピーを禁じます。)